



芸術文化による 大槌町まちづくり 人材育成事業

主催：ひょっこりひょうたん塾、大槌町、東京都、東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人いわて連携復興センター

©井上ひさし/山元護久/ひとみ座/NEP21キャラクターデザイン：片岡昌

2012年6月9日（土）15:00～

安渡小学校
体育館にて

第一回 文化芸術まちづくりゼミ 塾生募集中



【講師】

まちとしょテラソ 館長
花井裕一郎 Yuichiro Hanai

1962年福岡県筑豊生まれ。テレビディレクターからスタート。2000年、東京から小布施町に拠点を移し、本来の人間の姿、生き方を模索し創作。2009年より、小布施町立図書館・まちとしょテラソ館長。図書館を交流の場、ワクワクする情報を提供する場として演出している。

【現地ゲスト】

朝日新聞記者
東野真和 Masakazu Higashino

1964年大阪生まれ。1988年朝日新聞社入社。社会部、政治部、編集センター、特別報道センターを経て、2011年の震災後から大槌駐在。著書に「闘う東北」（朝日新聞社/共著）。大槌での取材を出版予定。

【モデレーター】

事編-kotoami- 代表
アサダワタル Wataru Asada

日常編集家。1979年大阪生まれ。音楽構成・演奏、著述、文化プロジェクトの構想・演出、大学講師・各種講演など、幅広いアウトプットで活動するクリエイター。著書に「住み開き家から始めるコミュニティ」（筑摩書房）、「編集進化論 edit するのは誰か？」（フィルムアート社/共著）など。

「みんなが交わる図書館でまちが変わる！」

— 小布施から学ぶ大槌の未来図 —

小布施町立図書館「まちとしょテラソ」。まちづくりで全国的に知られる長野県小布施町。2009年夏にオープンした町立図書館「まちとしょテラソ」はとりわけ大きな注目を集めています。旧来の「学びの場」としての機能だけでなく、「交流と創造を楽しむ、文化の拠点」というコンセプトをうたったこの図書館では、なんと飲食もできれば、おしゃべりしてもいい開放的な場。町民によって企画されるユニークなイベントの数々。常に人が交流し、語り合う様々なきっかけを盛り込んだ新しい図書館の取り組みから、まち全体を盛り上げていく館長の花井裕一郎さんの目指すものとは！？震災以後、大槌町の取材を続けてきた朝日新聞記者 東野真和さんも交えながら、今後の大槌町での文化・まちづくりにおける未来を語り合います。

【日時】6月9日 15:00 スタート

【場所】安渡小学校 体育館（大槌町安渡2丁目11-1）

【参加費】¥2,500-

（一日目の交流会、二日目のフィールドワーク費用として。宿泊費、2日目の昼食費は別途）

【参加対象】大槌町のこれからのまちづくりに関心のある方

【申し込み】Eメールまたはハガキにて、①参加プログラム②住所③氏名

④電話番号⑤メールアドレス⑥性別⑦年齢⑧参加人数 をご記入し、ひょっこりひょうたん塾事務局まで送付してください。

◆当日タイムスケジュール◆

9日（土）

14:30 開場

15:00 スタート 主催者あいさつ

15:10~16:40 メイン講義

17:00~17:30 大槌学

17:30~18:30 講師+現地ゲストによる対談

19:00~21:00 夕食+交流会

10日（日）

9:30~11:30 大槌学フィールドワーク演習

（おらが大槌夢広場による復興ツーリズム）

11:30~ 振り返り+昼食

13:00 終了

9日講座のみの飛び入り参加可！

ひょっこりひょうたん塾 事務局

Eメール：hyotanjuku@gmail.com

住所：〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌 24-24-2

電話：090-6229-4621

ひょっこりひょうたん塾 ホームページ

<http://hyotanjuku.jimdo.com/>